

## 解答例

こういった事があなたの施設で起きないようにするために、  
どのようなことを虐待防止委員会でおこないますか？

※この場面のこのケースには〇〇の取り組みが必要、というように  
上げてみてください。

例

- ①職員の発言（考え方）について・・・発達障害の対応マニュアルの確認・「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」、各ガイドライン確認。特に支援の方策については、障害からくる特性の知識と理解 人権意識の向上を図る研修
- ②支援方策について・・・組織的な障害理解への取り組み・行動と支援を考える研修開催
- ③イライラしたり支配的な発言へ・・・職員のアンガーマネジメントに関する取り組み・研修企画
- ④組織を変えるために・・・組織の体制や虐待にあたる行動・意識改革への取り組み  
第3者評価（県社協・県社会福祉士会）をうけてみる
- ⑤虐待防止委員会開催について・・・通報の意味を共有。手引きを確認する。

## 解答例

決まった手段を実行するためには**どのような人が必要**でしょうか。

**法人内外**を含めて委員会に必要な人員を考えてみましょう。

※研修企画ができる人→**主任 サビ児管 相談支援専門員（講師） 適宜、業務内容も見直し要**

※日程は→午前中の空いた時間等 **全員が参加できる工夫**

※工夫できる人がいるか→**県社協 アンガーマネジメント研修 県・強度行動障害研修**

※事業所内職員だけでベストなものができるのか→**第3者評価**

※事業所内職員が全員参加or一部参加が良いのか→**管理者・サビ児管・主任・児童指導員**

※骨子作成と各事業職員が意識できるのは→**地域（圏域）協議会 子ども部会参加（主任）**

**月1研修を定例化**

◆**役割と工夫 小規模 共有しやすい 役割かぶる**

**大規模 共有しづらい 目的がぼやける 職員ラダーでの意識各職員の適性考査  
支援のしづらさ SNS活用 現場からの吸い上げ**